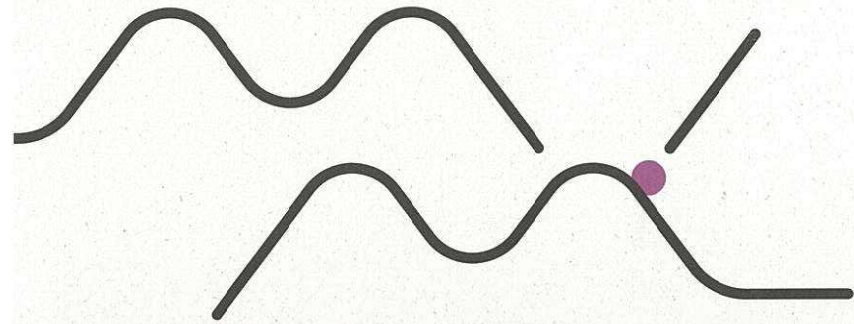


中世遺産都市・益田満喫本

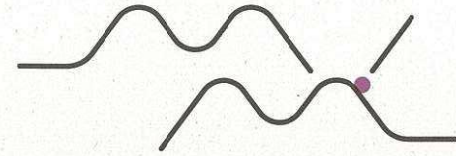


Mysterious! Masuda city

中世の  
アートを  
体験しよう  
中世を  
味わおう  
etc.



平成30年度文化庁  
地域と協働した美術館・博物館  
創造活動支援事業



〈発行〉  
アートで楽しむ益田の歴史プロジェクト実行委員会 / 「中世の食」450年事業実行委員会  
〈お問い合わせ〉  
益田市産業経済部観光交流課 TEL.0856-31-0106



ミステリアス / 益田

山城跡 × 居館跡  
雪舟 × 戦国武将  
毛利元就への宴 × 甦った中世の食  
歴食 × 酒蔵 × 坐禅 × 古地図…







# 五

## 山城跡×居館跡

# 夢の砦を歩こう

益田は中世の大規模な山城跡と居館跡が残るまち。遺構がここかしこに残る山城跡に上れば気分は武将！ 遙かな国々と交易した幻の湊まで見えるかも。

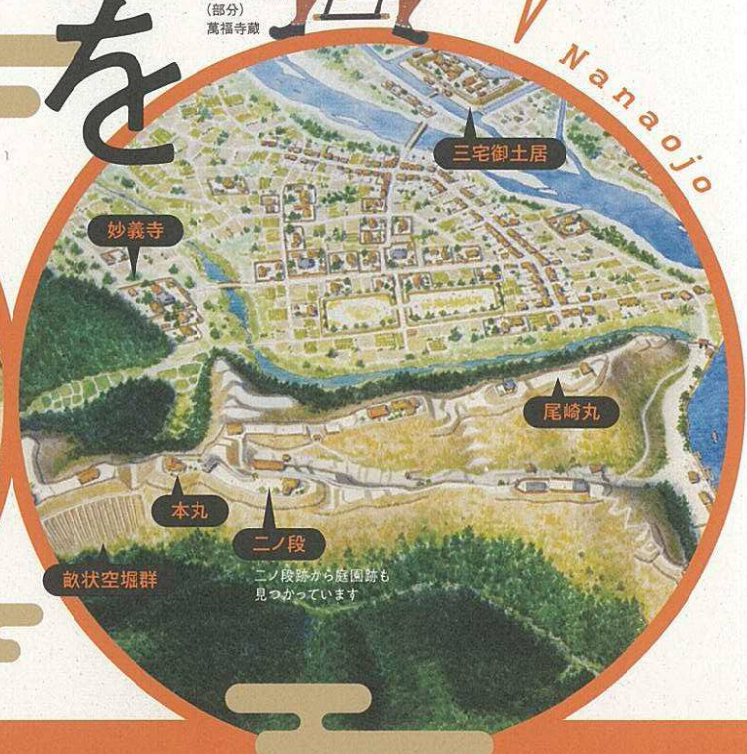
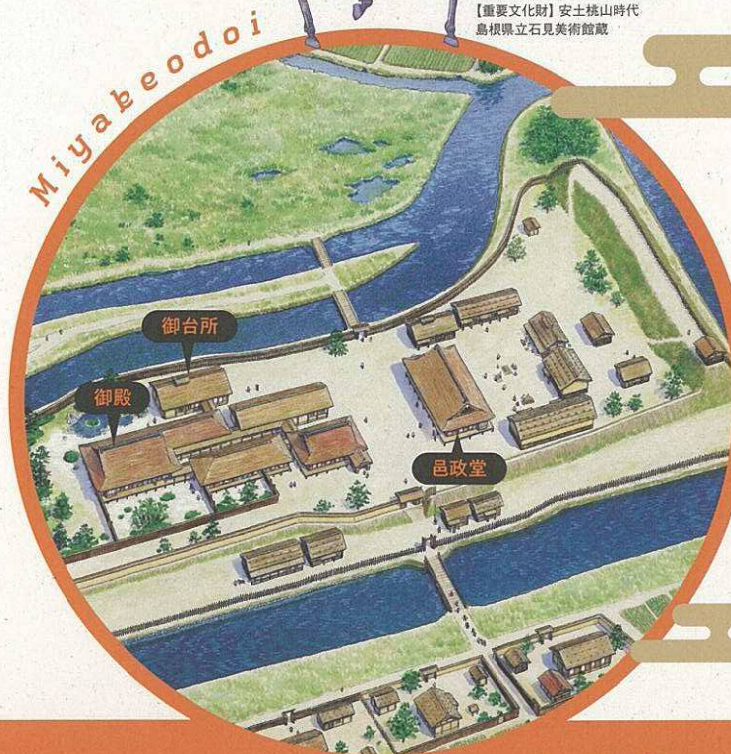


注目! 鞍の下に、朝鮮や中国との交易で入手した虎の皮。

[右]七尾城と城下町の想像図  
[左]三宅御土居の想像図  
(イラスト 香川元太郎)  
七尾城と三宅御土居を核とし、神社仏閣などが並んでいました。

【益田城見像】(部分) 萬福寺蔵

狩野松栄筆「益田元就像」(部分) 【重要文化財】安土桃山時代 島根県立石見美術館蔵



### 毛利元就の脅威が見える七尾城跡

七尾城は七尾山に築かれた全長600メートル以上におよぶ大規模な山城で、頂上の本丸跡は標高118メートル。遺構はY字状に広がり、大小40余りの曲輪・堀切・土塁・空堀・井戸跡などが残ります。南北朝時代、一族の三隅氏が北尾崎の木戸を急襲した記録があり、当時は北側の尾根を中心とした城だったと推測されています。最終的に大規模な山城となったのは16世紀半ば、19代藤兼のとき。毛利元就と対立し、その脅威に備えたと考えられます。また、山城は一般的には合戦時の緊急拠点。しかし益田家文書によれば藤兼は七尾城に居住しており、それを裏付けるように、本丸跡等からは、この時期の山城としては珍しい礎石建物跡や庭園跡、数多くの輸入陶磁器などが見つかっています。

### 住吉神社

城跡へはここから。いざ、本丸へ！ 天正4年(1576)、現在地と異なる妙義寺境内に城の鎮護神として勧請。現在の神社の地から城跡へ登ることが出来ます。



住吉神社

### 通常の倍!!館の規模 三宅御土居跡

七尾城から益田川を隔てた対岸にあった益田氏の居館跡です。かつては堀や川、高い土塁に囲まれ、屋敷地の規模は堀を除いて約190×110メートル。通常の中世の館の倍の規模でした。平安時代後半から安土桃山時代の輸入陶磁器等1万点以上が出土しています。



三宅御土居の想像図 (イラスト 香川元太郎)

益田川から見た七尾城跡。関ヶ原の戦いの後、益田氏が益田を去ったため、廃城となりました。



**01** **超巨大な五輪塔!!**  
伝 益田藤兼の墓  
益田は中世の石塔がなぜか多い地。しかもこれは高さ210センチの超巨大な五輪塔。その大きさや整った形、石材から見て、鎌倉時代終わり頃、神戸周辺から運んできたのでは? と推測されています。

**02** **高さ5メートルの東土塁**  
三宅御土居の地は、益田氏が去った後、お寺の敷地に。でも土塁は時を超え、なぜか残されました。横から見ると高さを実感できます。

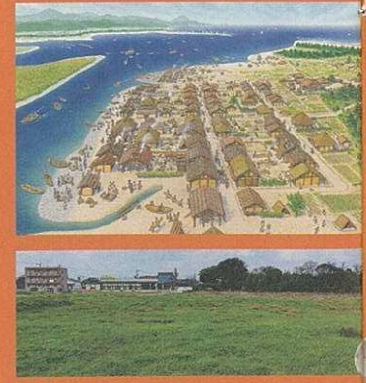
**03** **暁音寺と鍵曲がりの跡**  
七尾城跡と三宅御土居跡をつなぐ「七尾城通り」。暁音寺前の道は、かつて鍵曲がり(クランクのような形)になっていました。城下町を防御した遺構と考えられています。

**04** **遠く見上げるしかない本殿。でも実は...**  
本殿は天正11年(1583)造営。左隣の染羽大元神社への石段を上れば、すぐそば!

中世今市船着場跡

**05** **あれっ? 数えてみると...**  
福王寺石造十三重塔  
中須東原・西原遺跡のすぐ近くにある十三重塔ですが、数えるとなぜか十一層しかありません。実はこれ、江戸時代に地中からバラバラで発見されたもの。本来は十三層で鎌倉時代後期の作と考えられています。周辺には石塔の破片がたくさん。他にも石塔のちよっと不思議な組み合わせが見つかります。

中世中須湊の想像図 (イラスト 香川元太郎)



幻の湊は今、草原の中に...

**04** **東アジアに開かれた幻の湊 中須東原・西原遺跡**  
益田川の河口近くにあります。かつては河道に面した中世の湊町でした。舟着場や荷揚げ場と考えられる遺構、12世紀から16世紀の豊富な中国陶磁器、東南アジアや朝鮮陶磁器などが発見されています。



遠く見上げるしかない本殿。でも実は... 本殿は天正11年(1583)造営。左隣の染羽大元神社への石段を上れば、すぐそば!

益田氏が崇敬。神秘のスポット 染羽天石勝神社  
【本殿は重要文化財】

その名が延長5年(927)完成の延喜式にあつた、いわゆる式内社。社殿右手の山は巨大な一枚岩で、古くは自然崇拝の対象で、忠魂碑の背後には滝がありました。承平元年(931)に瀧藏山勝達寺(明治時代に廃寺)が建てられて瀧藏権現とも呼ばれるようになり、益田氏が中世以降、江戸時代も厚く崇敬しました。



雪舟 ~~X~~ 戦国武将

# 中世のアートを

# 体感しよう

城下町益田は、乱世にあっても文化度の高いまちでした。益田氏に招かれ、画僧雪舟も訪れたとか。雪舟と益田氏との出会いによって残されたアートを追ってミステリアス益田を巡ろう。



ココロを照らす庭  
萬福寺庭園  
【国指定史跡・名勝】

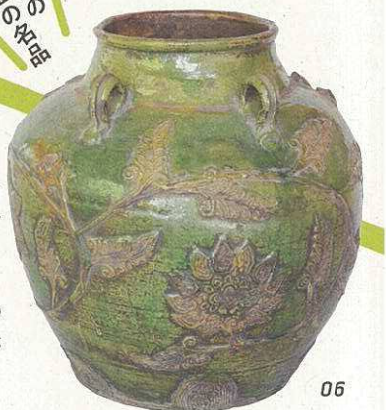
益田市は画僧・雪舟とのゆかりが深いまち。戦乱の世だった文明11年(1479)、雪舟は大内氏を介し、益田氏15代兼堯に招かれて益田を訪れたといわれています。雪舟は「益田兼堯像」(重要文化財)を制作。その堂々たる体躯の肖像からは、思慮深く、勇猛な知将の内面まで伝わってきます。

萬福寺は益田氏11代兼見が応安7年(1374)に創建した時宗寺院。庭園は、須弥山石を中央に、右手のやや暗い築山に枯滝石組、左手の明るい平坦地に三尊石、手前に心字池。明と暗が巧みに使い分けられた庭です。



展示室も必見!

明渡来の茶壺の型



華南三彩貼花文五耳壺  
16世紀後半～17世紀前半、中国華南地方で焼かれ、東南アジア経由で日本にもたらされた陶器。完形品は全国でも数例しかなく、貴重。益田氏拝領の茶壺と伝わり、交易に力を入れていた益田氏を彷彿とさせる品です。萬福寺蔵。

益田はなぜか石造物がスゴイ!

伝 益田兼見の墓 (右)【市指定文化財】

萬福寺境内の椎山墓地にあります。左は父・兼方の墓と伝わります。鎌倉時代後期～末期。



06  
ミステリアス

自然と対話する庭

医光寺庭園  
【国指定史跡・名勝】

医光寺は南北朝時代に創建され、兼見に尊崇された崇観寺が前身。庭は山の斜面を活かして築かれ、鶴をかたどった池に亀島、西側の丘には須弥山石から枯滝石組。春はしだれ桜、秋は紅葉が見事です。



なんと、山城の大手門

07  
ミステリアス  
医光寺総門  
【県指定文化財】  
かつての七尾城大手門を江戸時代に移築したものと伝わっています。その迫力、圧巻です。



雪舟、終焉の地

08  
ミステリアス  
大喜庵・雪舟の墓  
東光寺跡に建つ大喜庵。雪舟は東光寺で亡くなったという説があり、雪舟の墓と伝わるものがあります。雪舟終焉の地には諸説がありますが、その中で有力な候補の一つとされるのが益田です。



高村光雲作  
「雪舟禅師像」  
【市指定文化財】  
昭和2年  
益田市立雪舟の郷記念館蔵

花鳥図屏風が庭園に

益田市立雪舟の郷記念館

大喜庵の隣にあり、雪舟と益田の歴史などを展示・紹介。雪舟筆「益田兼堯像」や、伝雪舟筆「花鳥図」等を所蔵。花鳥図屏風に着想を得た庭園も築かれています。

雪舟が描いた益田兼堯像

雪舟が描いた肖像画の上部に、益田東光寺の住持だった竹心周鼎が書いた賛が記されています。



雪舟等楊筆  
「竹心周鼎賛」  
【重要文化財】  
室町時代  
益田市立雪舟の郷記念館蔵



# 毛利元就への宴×甦った中世の食

# 中世を 味わおう

戦国時代、益田藤兼・元祥父子は毛利元就のもとを訪れ、豪華な料理を振る舞いました。その料理が現代の益田で甦るとともに、アイデア豊かなNEO中世の食も誕生しました。美食への探求心あふれる益田で中世を味わってみませんか。

## 益田で甦った美食の競宴 再現プロジェクト

永禄11年(1568)、益田藤兼・元祥父子は安芸国吉田郡山城(広島県安芸高田市)を訪ね、毛利元就らに虎の皮や刀剣などの莫大な贈り物をすると同時に、豪華な料理を振る舞いました。食材の中には、益田名産の海・川の幸をはじめ、昆布・数の子など北海の稀少な産物も。それらは益田氏の豊かな経済力や交易ネットワークを示すものでもありました。

そのときの献立記録は益田家文書の中にあります。それをもとに市内の食品製造者や「食」の活動に携わる有志がプロジェクトを立ち上げ、料理の再現(中世の食)や商品化、食のイベントの開催等に挑戦。さらには市内の飲食店ともコラボし、各店自慢の「中世益田を感じられる一品料理」を誕生させました。

## プロジェクトから 生まれた 中世益田を 感じられる商品

【はむ】  
アゴ(トビウオ)のすり身に豆腐・自然薯を混ぜ合わせた中世の「はんべん」。

【煎り酒】  
日本酒に塩梅と鰹節を入れ、煮詰めて作った調味料。醤油が普及するまで欠かせなかった。

【与三右衛門】  
現在の倍の30日以上をかけて発酵させ、4日間かけて絞り出した、トオリとした黄金色のお酒。濃厚で甘く、砂糖がほとんどなかった中世には、料理の甘味を出す調味料としても重宝された。

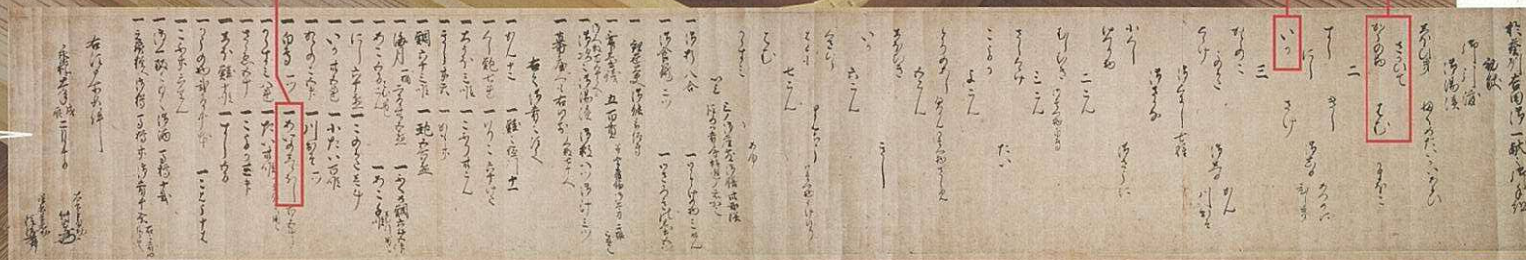
## 気分はお殿様? 料理と庭園を味わおう

「中世の食」を益田氏と雪舟ゆかりの萬福寺で味わってみませんか。詳しくはお問い合わせください。

- 期間/通年
- 場所/萬福寺
- 内容/萬福寺雪舟庭園鑑賞、「中世の食」試食体験
- 料金/3,500円(一人)  
(萬福寺拝観料含む)
- 人数/15名~40名

【ご予約・お問い合わせ】  
(有)真砂  
TEL.0856-26-0775(土・日除く)  
※ご予約の1か月前までにご連絡ください

益田藤兼・元祥が毛利元就に振る舞った祝宴の献立。プロジェクトでは、これをもとに料理を再現。なお、この祝宴の前月、元祥(それまでの名は次郎)は元服。その際、元祥の「元」の字を毛利元就から与えられました。



「中世の食」  
再現料理の一例



## 中世益田を 感じられる 一品料理

益田「中世の食」再現プロジェクトから生まれた商品を使って、市内の各飲食店がアイデア溢れる一品料理を誕生させました。NEO中世の食。ココロ踊る「競宴」で、さあ、一献どうぞ。  
※料理が変わる場合があります。ご了承ください。



## 鉄板ダイニング Taishi

### 「半熟たまごのはむ入りお焼き」

Taishiのお焼きに【はむ】を入れました。お好みソースとの相性も◎。

益田市駅前町19-10 MKビル1F  
TEL.0856-25-7493(不定休)  
営業時間/11:30~14:00、18:00~23:30



お焼きで楽しむ「中世の「はんべん」の食感。

## 暢ペ(のんぺ)

### 「だし巻」

地元の卵を使用しただし巻を【煎り酒】をつけてお召し上がりいただけます。

益田市駅前町21-15  
TEL.0856-32-3470(木曜日定休)  
営業時間/18:00~25:00



中世の調味料「煎り酒」の相性もGOOD!

## 寿司処みのり

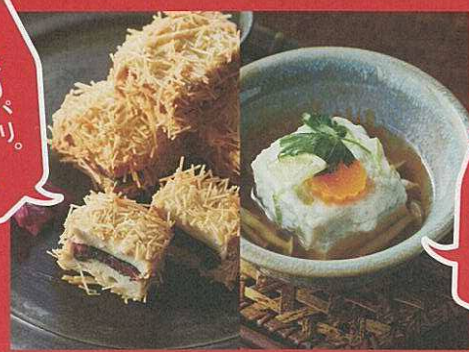
### 「はむパリパリサンド」

【はむ】に淡竹の梅酢漬け、大葉をはさんで素麺で揚げました。

### 「はむ卵白蒸し」

【はむ】に三つ葉と卵白をかけて蒸したものを。

益田市駅前町11-7  
TEL.0856-22-0234(月曜日定休)  
営業時間/11:00~14:00、17:00~22:00  
※必ず、ご予約の上、ご来店ください。



外はパリパリ。食感のハーモニーにワクワク。

中世の「はんべん」。「はんべん」の味。





REKISHOKU

### 01 萬福寺で、体験しよう 薬膳「豆腐づくり」と 歴食「はむ」体験

自分でつくる豆腐に季節の薬膳を添え、雪舟庭園を眺めながら味わっていただく体験です。島根県産大豆100%の「真砂のとうふ」の豆乳を用い、土鍋を使って、お一人様分の豆腐をつくりまします。豆腐づくりはトウフガールがエスコート。手づくりマイ豆腐に、カラダに優しい季節の薬膳を添え、歴史ある雪舟庭園を眺めながら、どうぞ。



- 日時/不定期
- 要予約(5名様から15名様まで)
- 料金(税込)/2,000円(一人)
- 場所/萬福寺(益田市東町25-33)

【お申し込み】  
(有)真砂 TEL.0856-26-0775(土・日除く)

私たち、  
マイ豆腐づくりに挑戦!  
できるかな…。



なんだか嬉しいっ!!  
雪舟庭園を眺めながら  
いただきます!

うわっ。  
お酒ってこうやって  
造られるんだ!!

### 02 銘酒のモノ語りにもつこん 創業1602年 酒蔵見学と 日本酒試飲

右田本店は江戸時代初めの創業で、島根県内で最も歴史がある蔵元の一つ。初代は、益田氏が益田を離れて町が元気を失う中、活気を取り戻そうと市(いち)や酒造りを始めた人物。市は初代の法号「宗味」にちなみ「宗味市」と呼ばれるようになりました。そんな歴史ある蔵元では今、伝統を守るだけでなく、時代に合わせた酒造りに積極的に挑戦。中世の酒も再現し、商品化させています。そんな老舗蔵元の酒蔵を、オーナー杜氏の案内で見学します。

- 日時/不定期
- 要予約(1名様から)
- 料金/500円(一人)
- 場所/(株)右田本店(益田市本町3-30)

【お申し込み】  
(株)右田本店  
TEL.0856-23-0028

オーナー杜氏さんのお話  
に「へー!!!」。  
知って楽しい!!



妙義禅寺

ここは益田氏ゆかりのお寺さま。  
益田氏も坐禅を組んだのかな。

### 03 私の中の「無」に出会おう 萬歳山妙義禅寺 だれでも坐禅会

妙義禅寺は鎌倉時代の創建と伝わる古刹。益田氏との関係は深く、特に19代藤兼に大事にされて石見国西部の曹洞宗の中心的寺院となりました。そんな歴史ある古刹で、住職に教えていただきながら坐禅を体験。心と体と息を整え、身心に風を入れませんか。

### 03 LAZEN

- 日時/毎週1回 6:00~
- 料金/無料
- 場所/妙義禅寺(益田市七尾町1-40)

お申し込みは不要ですが、  
確認の上、お越しください。  
妙義禅寺 TEL.0856-22-3126

なんだかドキドキ。  
さあ、心を整えて…。



## 中世を 体験しよう

訪ねるだけなんてもったいない。  
体験するってワクワク。  
中世城下町益田の歴史に浸る  
とっておきのひとときを。



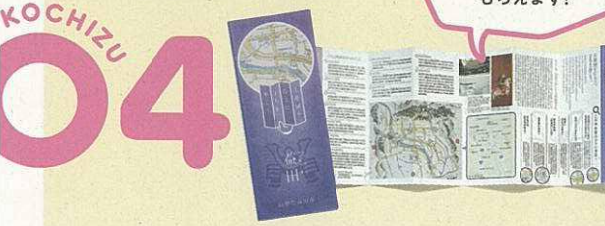
### 04 あっ、中世の益田が見えた! 古地図を片手に、 まちを歩こう。

古地図を用いながら、観光ボランティアガイドの案内で益田のまちを歩きます。古地図には、「三宅御土居跡の土塁や、暁音寺前の「鍵曲がり」など貴重な情報がいっぱい。江戸時代だけでなく、中世の城下町の姿が見えます。

- 日時/4~6月、9~12月の第1・3土曜日 10:00~
- 料金/1,000円(9名以下は無料)
- 集合場所/医光寺駐車場(益田市染羽町4-29)

【お申し込み】  
(一社)益田市観光協会  
TEL.0856-22-7120  
1週間前までにご予約ください。

参加すると  
古地図リーフレット  
もらえます!



「石州益田絵図」山口県文書館蔵



食べる×楽しむ

# 中世を 持ち帰ろう

益田氏の家紋を  
あしらったお菓子など、  
中世遺産都市益田ならではの  
おみやげがいっぱい。  
遊び心がトクメク  
おみやげをどうぞ。



「益田元祥ポストカード」  
益田氏第20代当主、元祥の肖像画のポストカード。戦乱の世を生き抜いた元祥の威厳を今に伝えます。



「益田元祥クリアファイル」  
益田氏第20代当主、元祥を中心に背景には益田氏・三隅氏・周布氏・吉見氏の家紋が入っています。



DVD「歴史 オブ 益田氏」  
益田氏の歴史を15分のアニメと活弁で楽しく学べるDVD。「益田元祥像」「益田兼光像」のために作られた楽曲なども収録。



「万葉集ポストカード」  
万葉集に登場する歌・植物がプリントされた島根県立万葉公園限定のポストカード。



「益田はちみつバターカステラ」  
益田産の「空港はちみつ」を使用したバターカステラ。ふんわり、やさしく焼き上げています。



「益田氏もなか」  
益田家の家紋をかたどったもなか。もなかの皮部分や包装紙に益田家の家紋を使用。ゆずあんもなか・チョコ粒あんもなかの2種類。



「益田氏マシュマロ」  
益田氏の肖像画や家紋をあしらったマシュマロです。むにゅっとした食感の中にトロツとしたチョコクリームが入っています。



「石見の戦国武将 家紋ストラップ」  
益田ゆかりの武将4氏の家紋をストラップにしました。靴等に付けることで多方面で益田PR。



「石見の戦国武将 家紋コースター」  
益田ゆかりの武将4氏の家紋をあしらったコルク製の焼印コースターです。自社の技術を活かして製作しました。



「宗味 与三右衛門」  
中世の酒「与三右衛門」は当時の文献を紐解き古来の製法で醸造した純米酒です。麹の甘みを十分に引き出した甘口で濃厚な味わいに仕上がっています。



「煎り酒」  
益田「中世の食」再現プロジェクトの取組みの一つとして、益田氏が毛利元就をもてなした当時に使われていた調味料「煎り酒」を文献を読み解き再現。



「柿庵」  
柚子ペースを練り込んだ手亡餡をまる柿で包んだ商品。まる柿の表面にはみじん粉がまぶしてある。商品名は柿本人麩に由来。秋頃に販売。



「はちみつマドレーヌ」  
益田産の「空港はちみつ」を使ったマドレーヌ。益田家の家紋を入れたパッケージで歴史を表現。



「雪舟風絵皿」  
明と交易する益田氏の帆船が描かれた皿。画風は益田氏と同時代の雪舟をイメージ。



「益田氏家紋入 豆皿・古墳型箸置き」  
益田家の家紋の印が押された豆皿・箸置の焼き物。箸置は大元古墳の前方後円墳の形に成形。



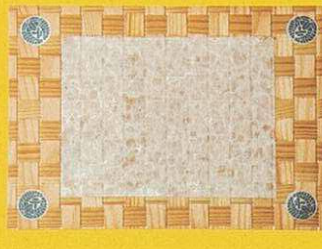
「益田氏家紋入 太鼓置き物」  
益田家の家紋を太鼓の両面にデザインした島根県産の松材を使用した木工品。



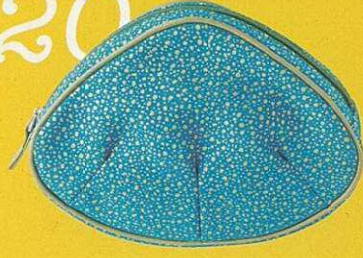
「茶席小物入れ」  
石見の地に柿本人麩が伝えたという和紙を使用して益田家の家紋をあしらった茶席小物入れ。石州和紙に特殊な加工を施し、手作り感を残して製作。



「和紙の小物入れ」  
益田家の歴史と重みを感じるデザインをベースに和紙の色や家紋を表現した小物入れ。和紙素材を組み合わせた形状。



「テーブルマット」  
益田家の家紋を入れ、古風ながらも新しい表現を追求した商品。和紙と木の組合せで小さく畳むことのできる形に制作・加工。



「K iwamiオリジナル化粧ポーチ」  
出雲大社で生まれた「神ノ糸」を使った生地と、「江戸小紋」染めの技法とをコラボさせたポーチ。



「鴨島大ハマグリペンダント」  
石州瓦を使った大ハマグリ型の良縁ペンダントです。トップだけを使い、キーホルダーや、ゴム紐と併せて髪留めとしてもオシャレです。

- 04 島根県立万葉公園  
益田市高津町イ2402-1 TEL.0856-22-2133
- 05 (有)リパティ  
益田市あけぼの本町10-1 TEL.0856-23-1839
- 06 (有)CANDY(千両饅頭)  
益田市高津1-13-14 TEL.0856-22-0705
- 07 (有)真砂  
益田市波田町イ753-1 TEL.0856-26-0775
- 08・09 アケボノ(株)  
益田市左ヶ山町口167-1 TEL.0856-23-1682
- 10 (株)右田本店  
益田市本町3-30 TEL.0856-23-0028
- 11 (資)丸新醤油醸造元  
益田市喜阿弥町イ-997-3 TEL.0856-28-0115
- 12 (有)鶏卵堂  
益田市あけぼの本町9-18 TEL.0856-22-0794
- 13 松月堂マリード  
益田市本町1-57 TEL.0856-22-0350
- 14・15 雪舟焼窯元  
益田市染羽町4-29 TEL.0856-22-2056
- 16 (有)工房花美  
益田市神田町イ708-1 TEL.0856-25-1716
- 17・18・19 (株)フタバ和紙工房  
益田市乙吉町345-4 TEL.0856-22-4471
- 20・21 (株)むらたや K iwami事業部  
益田市駅前町11-16 TEL.0856-22-0098

おみやげどころ ※【】内の数字は購入できる商品の番号

キヌヤ【6・7・10・11】  
益田市常盤町4-38(本店) TEL.0856-23-0865(年中無休)  
営業時間/9:00~20:00

fruit gift & café moritani【6・7・10】  
益田市駅前町25-32 TEL.0856-22-0322(第4水曜日定休)  
営業時間/9:00~17:30

エアポートショップ 萩・石見【6・10・11・14・15】  
益田市内田町イ597番地「萩・石見空港」内 TEL.0856-24-0040  
営業時間/11:00~17:30

セブン-イレブンおみやげ楽市益田店【10・12・13】  
益田市駅前町105-2 TEL.0856-22-8816  
営業時間/7:30~18:30

ミュージアムショップ  
「con amor(コンアモール)」【1・2・3・8・9・14・15・16】  
益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内  
TEL.0856-31-1874(火曜日定休・年末年始お休み)  
営業時間/10:00~18:30

## 島根県芸術文化センター 「グラントワ」

島根県立石見美術館と島根県立いわみ芸術劇場の複合施設。美術館では古美術から現代アート、ファッションまで幅広い作品を楽しめます。「益田元祥像」の展示スケジュールはお問い合わせください。





# Masuda Map

## 施設情報

- A 染羽天石勝神社** …… P.04  
染羽町1-60 TEL.0856-22-3619  
【時間】終日解放(社務所は9:00~16:00頃)
- B 住吉神社** …… P.05  
七尾町4-71 TEL.0856-28-0307
- C 福王寺石造十三重塔** …… P.05  
中須町182 TEL.0856-23-0448
- D 萬福寺** …… P.06  
東町25-33 TEL.0856-22-0302  
【時間】8:30~17:30(冬季17:00まで)  
【定休日】年中無休  
【拝観料】一般500円(400円)  
高校生300円(200円)  
小中学生無料  
※( )内は団体料金(20名以上)
- E 医光寺** …… P.07  
染羽町4-29 TEL.0856-22-1668  
【時間】8:30~17:30(冬季17:00まで)  
【定休日】年中無休  
【拝観料】一般500円(400円)  
高校生300円(200円)  
小中学生無料  
※( )内は団体料金(20名以上)
- F 益田市立雪舟の郷記念館** …… P.07  
乙吉町イ1149 TEL.0856-24-0500  
【時間】9:00~17:00(受付は16:30まで)  
【定休日】休日を除く毎週火・水曜日  
祝日の翌日(土・日・休日を除く)  
年々年始・展示入替期間  
【入館料】一般300円(240円)  
小中高100円(80円)  
※( )内は団体料金(20名以上)
- G 大喜庵** …… P.07  
乙吉町イ1149 TEL.0856-24-0500
- H 妙義禅寺** …… P.11  
七尾町1-40 TEL.0856-22-3126  
【時間】7:00~16:00(季節で変動あり)
- I 島根県芸術文化センター** …… P.13  
「グラントワ」(島根県立石見美術館)  
有明町5-15 TEL.0856-31-1860  
【時間】10:00~18:30  
(展示室への入場は閉館30分前まで)  
【定休日】毎週火曜日  
(祝日の場合閉館、翌平日閉館)  
年末年始  
【入館料】(企画展)  
一般1,000円(800円)  
大学生600円(450円)  
小中高生300円(250円)  
(コレクション展・特別展)  
一般300円(240円)  
大学生200円(160円)  
高校生以下は無料  
※( )内は団体料金(20名以上)



## 益田市へのアクセス

- 【東京から】**  
■ 飛行機 羽田 ⇄ 萩・石見空港 / 約1時間30分
- 【大阪から】**  
■ 高速バス 約8時間  
■ 自動車 中国・浜田道経由、浜田ICから国道9号線  
中国・山陽・広島・中国道経由、戸河内ICから国道191号線  
約5時間30分
- 【広島から】**  
■ 高速バス 中国道六日市IC経由 / 約3時間15分  
中国道戸河内IC経由 / 約2時間30分  
■ 自動車 中国・浜田道経由、浜田ICから国道9号線  
山陽・広島・中国道経由、戸河内ICから国道191号線  
約2時間30分
- 【松江・出雲から】**  
■ 鉄道 松江駅から山陰本線特急列車で益田駅まで / 約2時間  
出雲市駅から山陰本線特急列車で益田駅まで / 約1時間30分
- 【萩から】**  
■ 鉄道 東萩駅から山陰本線普通列車で益田駅まで / 約1時間20分  
■ 自動車 国道191号線 / 約1時間15分
- 【津和野から】**  
■ 鉄道 津和野駅から山口線(特急)で益田駅まで / 約30分  
■ 自動車 国道9号線 / 約45分
- 【山口・九州方面から】**  
■ 鉄道 新山口駅から山口線で益田駅まで / 約1時間30分

## 益田市内の移動手段

- 【路線バス~雪舟・人麿ライン】**  
■ 雪舟・人麿ライン1日乗車券 / おとな1,000円・子ども500円  
■ 雪舟ライン1日乗車券 / おとな500円・子ども250円  
■ お問い合わせ / 石見交通 TEL.0856-24-0076
- 【観光タクシー】**  
■ 料金 / 6,900円~(小型4名様乗り)  
■ 所要時間目安 / 約2時間  
■ お問い合わせ / 益田地区タクシー共同組合 TEL.0856-22-4323  
(土日祝日 益田タクシー TEL.0856-22-8181)
- 【レンタサイクル】**  
■ 貸出場所 / (一社) 益田市観光協会(益田駅前)  
■ 料金  
(シティタイプ)  
・電動アシスト自転車: 3時間まで500円(以降、1時間ごとに100円)  
・普通自転車: 3時間まで300円(以降、1時間ごとに100円)  
(スポーツタイプ)  
・ロードバイク(GIANT社製): 3時間まで2,000円 / 1日3,000円  
・クロスバイク・ミニベロ(GIANT社製): 3時間まで1,000円 / 1日2,000円  
・子ども用クロスバイク(20inc/24inc): 3時間まで500円 / 1日1,000円  
■ お問い合わせ / (一社) 益田市観光協会 TEL.0856-22-7120